



(桐生広域林業会館)

意見書

この定例会では、次の意見書案を可決し、
内閣総理大臣ほかに送付しました。

道路特定財源制度堅持に 関する意見書

道路は、豊かな国民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であり、その整備は非常に重要であり、国民の要望は極めて強いものがあります。

そして、大都市圏を除く全国各地では、道路整備はまだ十分でなく、道路網の整備は、安全で快適な活力ある地域づくり、都市づくり、並びに沿道の大気汚染や騒音、地球温暖化に対処し、環境改善を図るためにも緊急かつ不可欠な課題となっています。さらには、地方の都市部における交通混雑や、歩行者・自転車の交通安全確保、さらには、高齢者の交通事故防止などの諸課題に対しても、積極的に対応していく必要があります。

また、本市を結ぶ都市連絡道路として重要な役割を果たしている国道50号バイパスの未整備部分の早期着工や、全国各地との交流推進にとって欠くことのできない北関東自動車道を補完するアクセス道路の整備早期実現を切望しているところです。

現実的には地方の道路整備はこの財源に負うところが多く、従って、この一般財源化は地方都市にとって全く不利益なことです。

よって、政府におかれましては、地方における道路整備の重要性緊急性を充分認識され、道路整備を計画的かつ重点的に推進するため、道路特定財源制度を堅持し、一般財源化、あるいは道路整備以外への転用をすることなく、従来同様にその全額を道路整備費に充てるよう強く要望します。

提出先 ○衆議院議長 ○参議院議長
○内閣総理大臣 ○総務大臣
○法務大臣 ○財務大臣

森林・林業・木材関連産業政策と 国有林野事業の健全化を求める意見書

今日の森林・林業や木材関連産業は、国産材の価格低迷が長期に続く中で、林業の採算性が悪化し、そのことが森林所有者の林業に対する意欲を失わせ、適切な森林の育成・整備が停滞し、森林の持つ多面的機能が低下している実情にあります。

また、自然環境や生活環境に対する国民の期待と要請は年々増加していますが地球温暖化防止における二酸化炭素吸収源としての役割はもとより、近年、自然災害が多発する中、安全・安心の確保を図る森林の役割についても果たすことができなくなることが強く危ぶまれています。

加えてこの間、わが国の森林行政の中核を担い、民有林行政との連携を果たしてきた国有林野事業は、一般会計化・独立行政法人化が検討されるなど、国民の共有の財産である国有林の管理への影響も深刻なものとなっています。

こうした中、平成18年9月8日、森林・林業基本計画が閣議決定され、森林整備や地域材利用計画の推進、林業労働力の確保などの対策を進めていくこととされました。

したがって、森林・林業基本計画の確実な実行や、地球温暖化防止森林吸収源10か年対策の着実な推進、そして、多面的機能維持を図るための森林整備等を推進するために、下記施策の実行を切に要望いたします。

記

- 1 森林・林業基本計画に基づく森林の整備・保全、地域材利用対策の推進と、木材の生産・加工・流通体制の整備、林業労働力の確保に向け、諸施策の確立と平成19年度予算の確保など必要な措置を講ずること。
- 2 地球温暖化問題を初めとする地球規模での環境保全への対策や、持続可能な森林経営を目指した違法伐採対策の推進を図ること。
- 3 国有林野については、安全・安心な国土基盤の形成と、地域振興に資する管理体制の確保を図り、国民の共有財産である国有林の持続可能な森林管理と、技術者の育成確保を国が責任を持って図ること。

提出先 ○内閣総理大臣 ○総務大臣
○財務大臣 ○林野庁長官

(北関東自動車道
伊勢崎インターチェンジ)

